

# 2023年2月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社ジェーソン （証券コード：3080）

2022年10月13日



# INDEX

## 目次

- 1 会社概要
- 2 2023年2月期 第2四半期 決算概要
- 3 当社の特徴と成長戦略、下期の取り組み
- 4 2023年2月期 業績予想・株主還元
- 5 サステナビリティ

# 1 会社概要

**VISION**  
ビジョン

人々の生活を支えるインフラ（社会基盤）となる

ビジネスをサイエンスし、  
未来へ進化し続けるロープライスストアを目指します。

# 会社概要

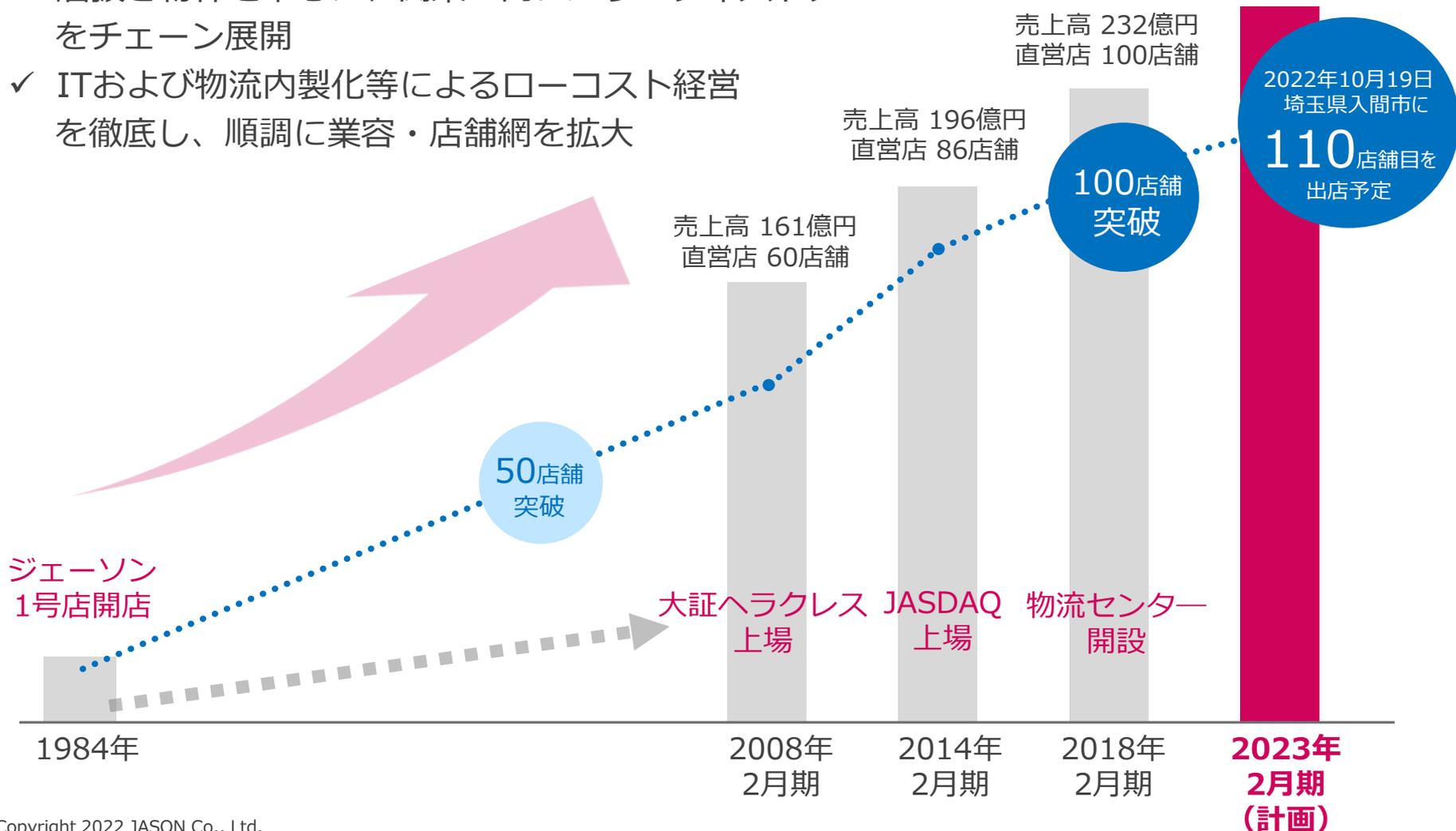


会社名	株式会社ジェーソン
上場市場	東京証券取引所 スタンダード 3080
事業概要	ディスカウントストアとバラエティストアの運営およびチェーン展開
設立	1973年7月 (会社合併による存続会社の設立年月日。実質的な事業開始は1983年6月)
代表者	代表取締役社長兼会長 太田 万三彦
本社	千葉県柏市大津ヶ丘2-8-5
資本金	3億2,030万円
決算日	2月末日
従業員数	1,017名 (正社員200名・平均臨時雇用者数817名。2022年2月期)

## 売上高260億円規模まで持続的かつ着実に成長

- ✓ 居抜き物件を中心に、関東一円にバラエティストアをチェーン展開
- ✓ ITおよび物流内製化等によるローコスト経営を徹底し、順調に業容・店舗網を拡大

売上高 **270** 億円  
直営店 **109** 店舗  
(2022年8月末現在)



# グループ概要



当社と連結子会社【株式会社スパイラル】【株式会社尚仁沢ビバレッジ】の3社で構成されています。

## 株式会社ジェーソン

販売

施設賃貸

株式会社スパイラル

ジェーソン業務を補完するための商品調達

販売

転リース

しょうじんざわ

株式会社尚仁沢ビバレッジ

PB商品「尚仁沢の天然水」を製造する  
ボトリング事業

## 地域密着型のバラエティストア※を運営

※地域密着の生活必需品を安価に提供する、  
コンビニエンス性の高い店舗のこと。



**1日の  
来店者数** 約 **51,000** 名

生鮮食品を除く生活必需品、日用品  
のバラエティストアを首都圏、関東  
近郊の生活圏で運営



**平均的な  
店舗面積** 約 **210** 坪

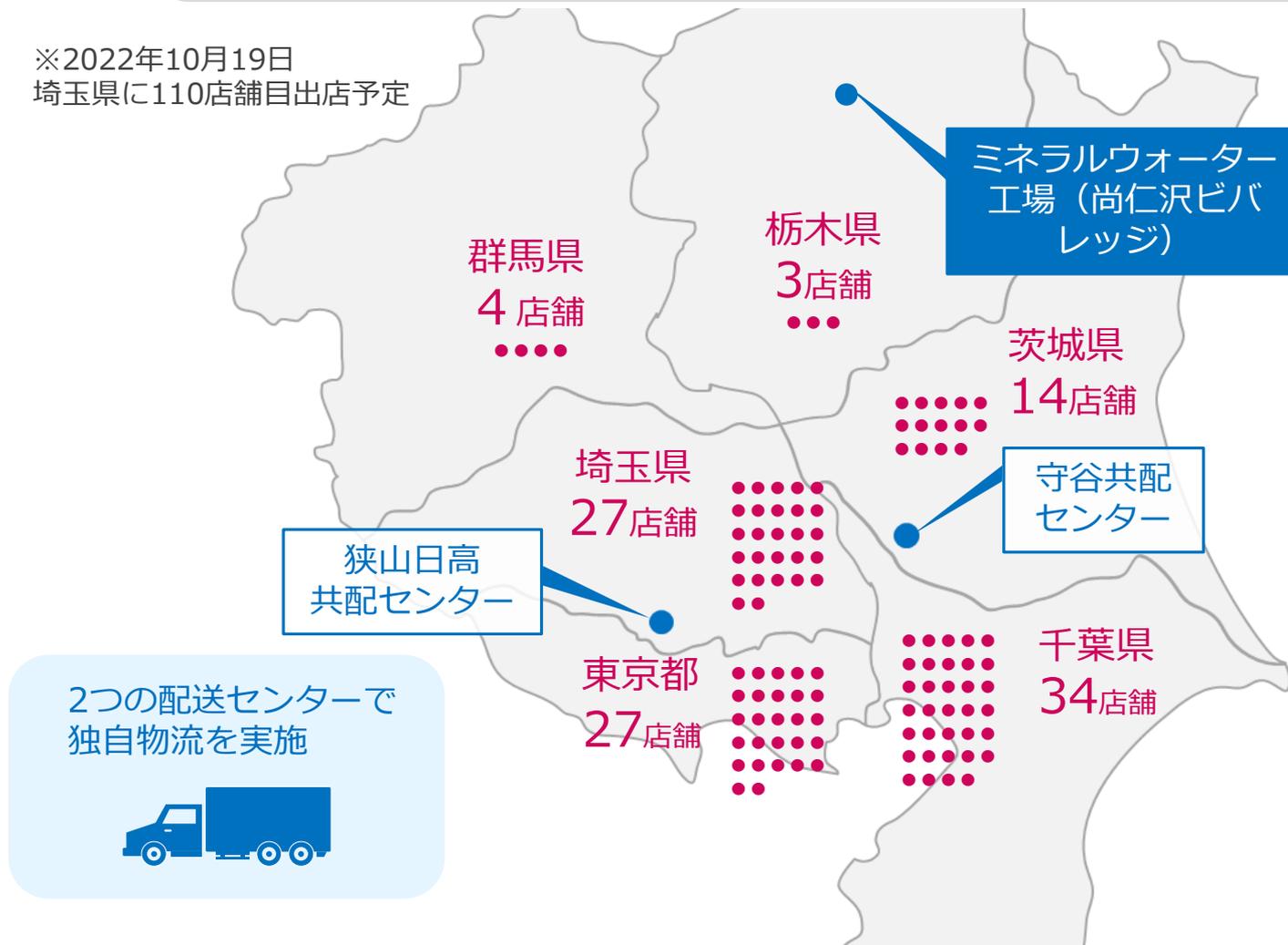
いつでも安く、より短い時間で、  
手軽に購入できる売り場づくりを  
心がけています。



## 物流センターをハブとして関東一円で店舗展開

### 店舗分布

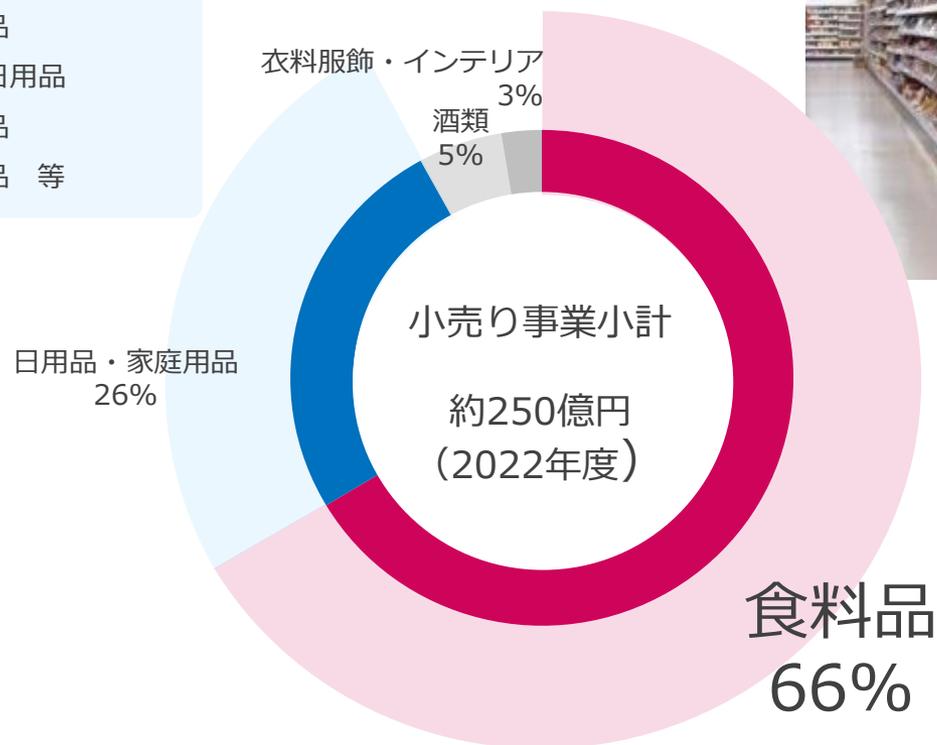
※2022年10月19日  
埼玉県に110店舗目出店予定



# 事業内容：取扱商品

売上の約7割が食料品であり、地域住民の生活に貢献

- 日用品・家庭用品に含まれるもの
- 
- 洗剤衛生品
  - キッチン日用品
  - 洗濯清掃品
  - ペット用品 等



▲店内の陳列の様子

- 食料品に含まれるもの
- 
- 飲料（お茶、コーヒー、ミネラルウォーター等）
  - 菓子・グロサリー
  - 日配品 等

## 事業内容：PB商品

しょうじんざわ

### ミネラルウォーター「尚仁沢の天然水」 2021年10月発売以来317万本の販売実績。



環境省が選定した全国名水百選に数えられる名水「尚仁沢湧水」のミネラルウォーター。天然の広葉樹（ブナ）の原生林に育まれた湧水は「天然弱アルカリ」成分で、超軟水（硬度：23mg）であり、まろやかな味わい。



▲栃木県塩谷町 尚仁沢ボトリング工場

## 2 2023年2月期 第2四半期 決算概要

# 業績ハイライト

## 売上高

**14,103**百万円

第2四半期  
計画達成率

**100.0%**

前年同期比

**3.7% 増**

(期末直営店舗数 109店舗)

## 営業利益

**611**百万円

第2四半期  
計画達成率

**100.1%**

前年同期比

**1.4% 増**

## 中間業績計画を達成

### 業績達成の要因

- ✓ 店舗のスクラップ&ビルドを進めつつ店舗数増加。
- ✓ PB商品（主にミネラルウォーター）、JV商品の仕入強化。
- ✓ 長引くコロナ禍の中、顧客行動の変容が定着化し、まとめ買いによる客単価が増加。
- ✓ 物価高騰の中、顧客の価格選好が一層強まり、低価格商品が主力の当社の優位性が相対的に向上。

## 2023年2月期 第2四半期(累計・連結)

JV (ジェーソンバリュー) 商品の好調な売れ行きにより売上総利益が増加。  
 当社の強みであるローコストオペレーションの追求により、電気代など  
 諸経費が上昇する中で、すべての指標において期初計画以上を達成。

(単位：百万円)	2022.2月期		2023.2月期						
	2Q		2Q					通期	
	実績	率	実績	率	※前年同期比	期初計画	達成率	期初計画	進捗率
売上高	13,605	—	14,103	—	3.7%	14,100	100.0%	27,000	52.2%
原価	10,010	73.6%	10,280	72.8%	2.6%	—	—	—	—
売上総利益	3,594	26.4%	3,823	27.1%	6.3%	—	—	—	—
販管費	2,991	22.0%	3,211	22.7%	7.3%	—	—	—	—
営業利益	603	4.4%	611	4.3%	1.4%	610	100.1%	960	63.7%
経常利益	630	4.6%	632	4.4%	0.4%	630	100.3%	1,000	63.2%
四半期純利益	370	2.7%	385	2.7%	4.1%	370	104.0%	600	64.3%
EPS (円)	28.9	—	30.1	—	4.1%	28.8	—	46.8	—

※「収益認識に関する会計基準」を考慮せず単純比較

## 群馬県と栃木県で新たに3店舗がオープン



### ジェーソンみどり笠懸店（群馬県）

最寄駅 東武鉄道桐生線 藪塚駅 群馬県道68号桐生伊勢崎線沿い  
売場面積 1,469㎡

2022年3月23日 OPEN



### ジェーソン前橋駒形店（群馬県）

最寄駅 両毛線 駒形駅 群馬県道104号駒形柴町線沿い  
売場面積 848㎡

2022年7月13日 OPEN



### ジェーソン鹿沼上殿店（栃木県）

最寄駅 東武鉄道日光線 縦山駅 国道352号線沿い  
売場面積 999㎡

2022年8月10日 OPEN

NEWS

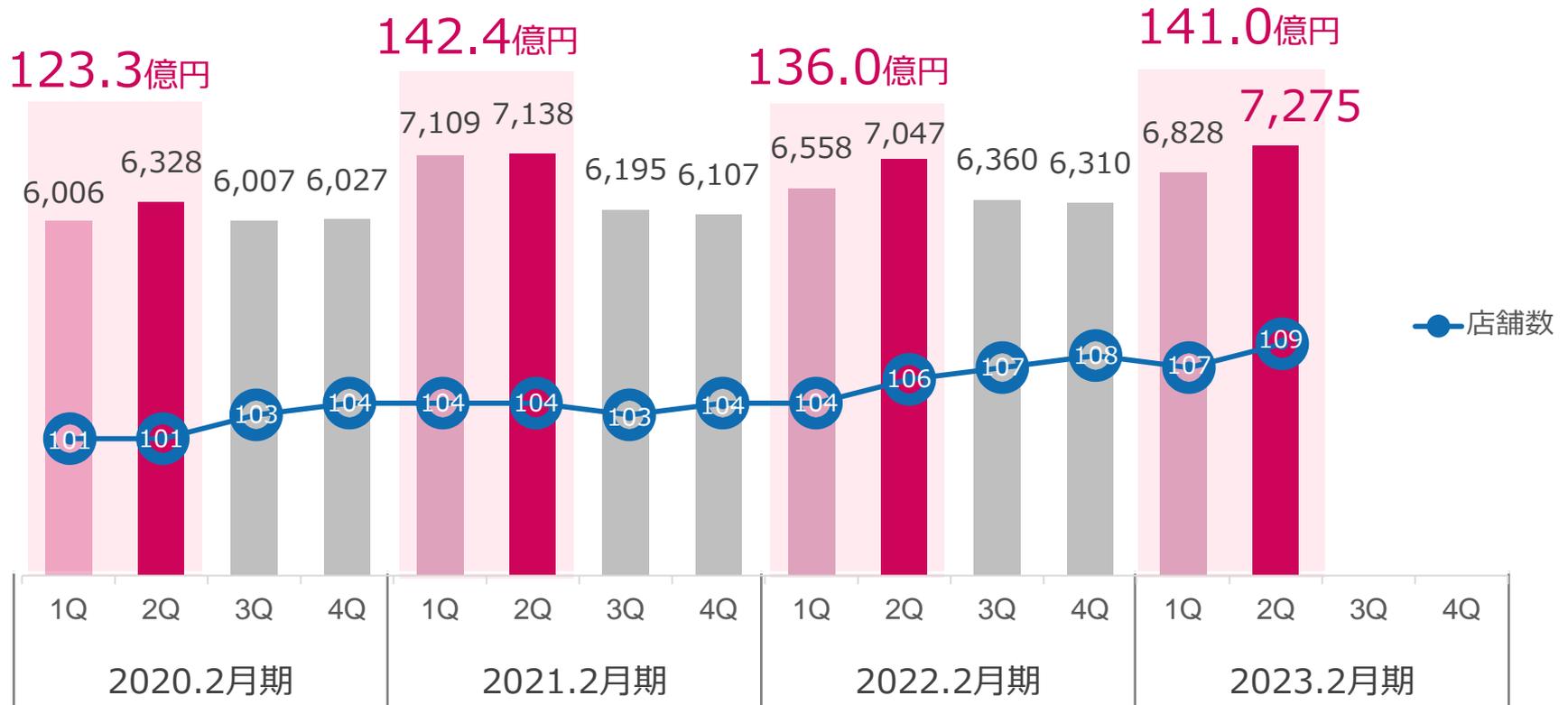
2022年10月19日 埼玉県入間市に110店舗目出店予定

# 売上高 四半期推移（会計期間）

JV商品、PB商品の売上堅調および店舗数増加に伴い各四半期において増収基調。当四半期6－8月は、四半期単位では過去最高の売上を達成。

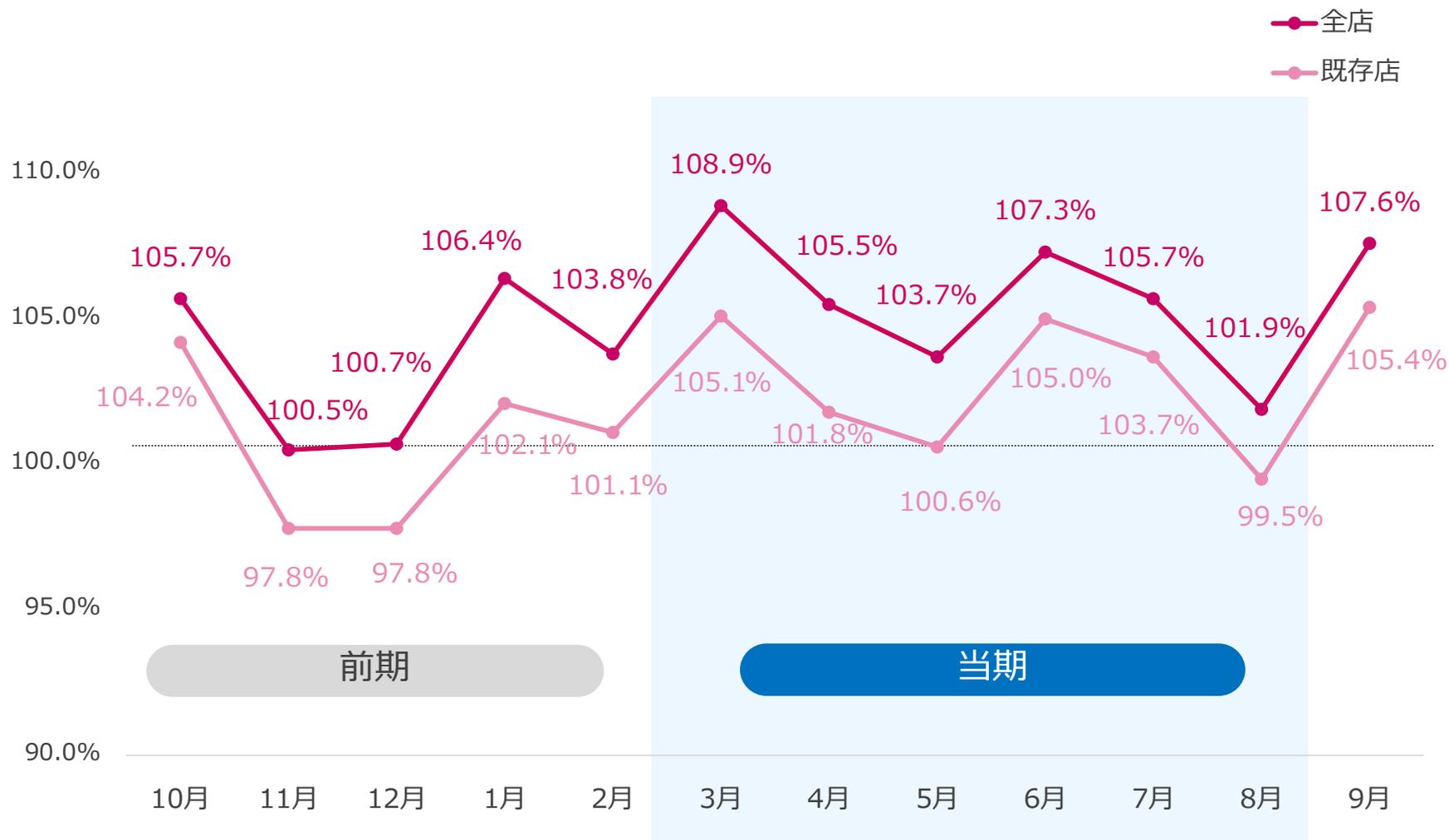
緊急事態宣言初発令による  
巣ごもり需要

(単位：百万円)



# 月次売上推移

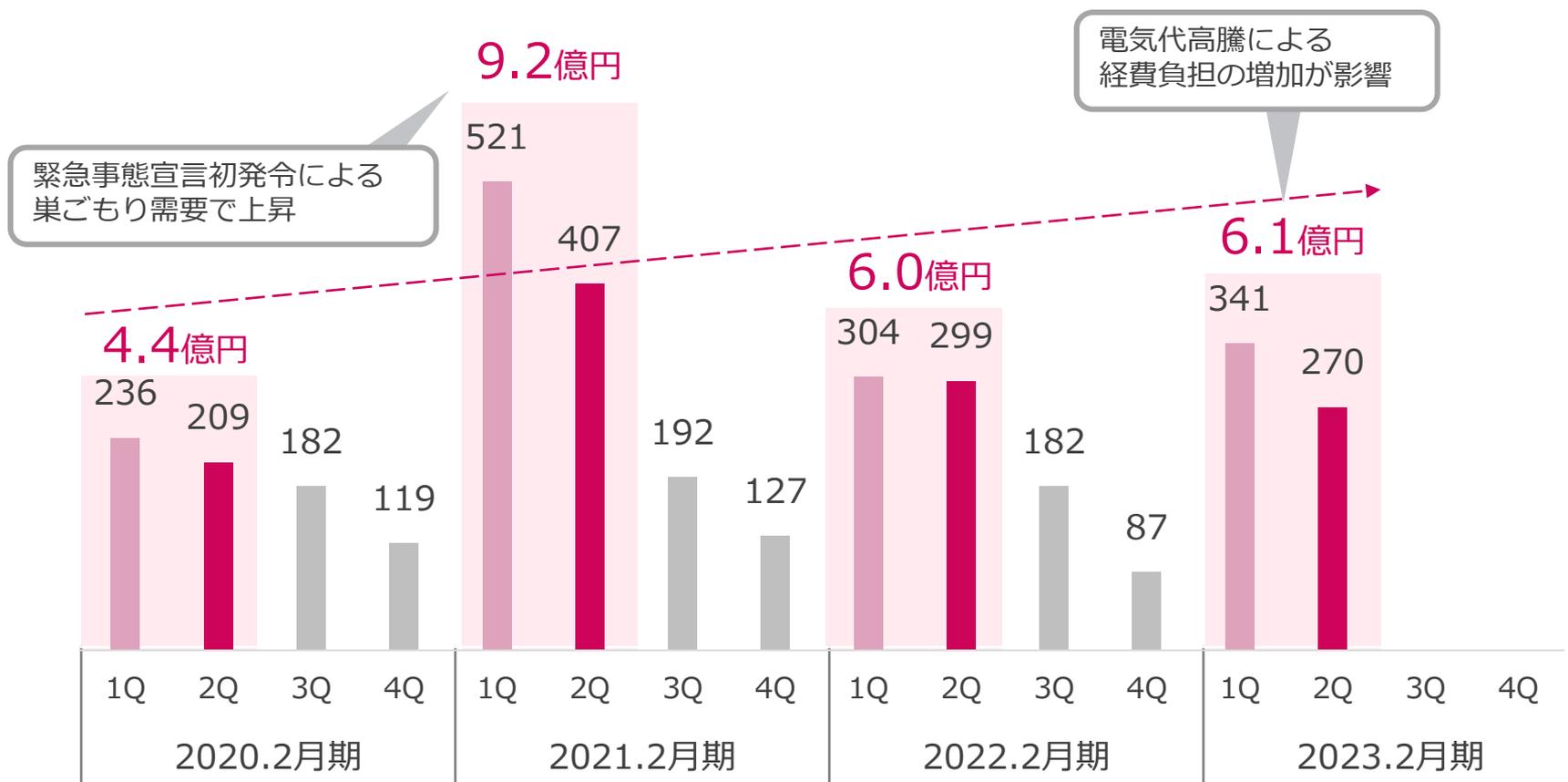
上期の店舗売上は、直営店・既存店ともに概ね前年同月比100%超で順調に推移。



## 営業利益四半期推移（会計期間）

電気代をはじめ各種コストの上昇の影響を受けつつも  
第2Q累計で前年同期比増益。

（単位：百万円）



## 第2Qの売上構成比は概ね例年通り食料品が65%、日用品等24%

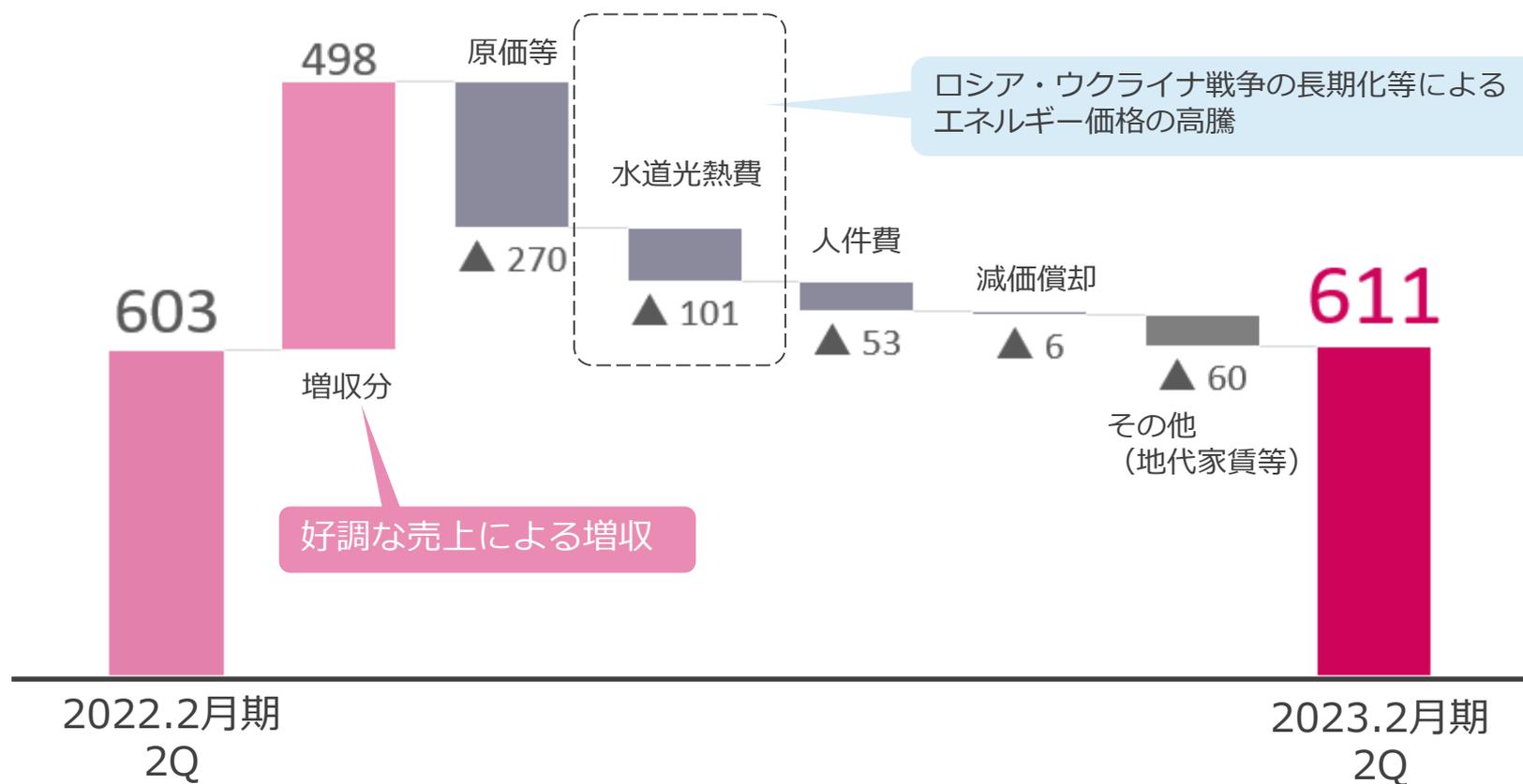
(単位：百万円)

商品部門名称	金額	構成比
衣料服飾・インテリア	319	2.3%
日用品・家庭用品	3,423	24.3%
食料品	9,170	65.0%
酒類	656	4.7%
その他商品	526	3.7%
小計	14,095	99.9%
その他営業収入	8	0.1%
合計	14,103	100.0%

# 営業利益 増減要因

電気代高騰などの影響を大きく受けながらも、好調な売上および売上総利益の増加により、期初の営業利益計画を達成。

(単位：百万円)



## 貸借対照表概要（連結）

上半期新規出店3店舗、売上規模拡大により  
前年同期末比で総資産が約8.5億円増加。

（単位：百万円）	2022.2月期	2023.2月期 2Q	増減	主な内訳
流動資産	6,387	7,237	850	現金及び預金、 商品及び製品など
固定資産	3,354	3,360	5	
有形固定資産	1,975	1,961	▲13	建物及び構築物、土地、 工具、器具及び備品など
無形固定資産	159	159	0	のれんなど
投資その他の資産	1,219	1,239	19	敷金及び保証金など
資産合計	9,742	10,597	855	
負債合計	4,491	5,127	636	
流動負債	3,475	4,129	653	買掛金、短期借入金、 未払金など
固定負債	1,015	997	▲17	長期借入金、リース債務 など
純資産合計	5,251	5,470	219	
負債・純資産合計	9,742	10,597	855	

しょうじんざわ

## 「尚仁沢の天然水」リニューアル

- ✓ **製造設備の更改**で大幅な増産体制を確立し、安定供給を実現
- ✓ **高性能特殊フィルター**を導入
- ✓ **新デザイン・スリムボトル**を採用

加熱殺菌から非加熱殺菌に製法を変更し、本来の風味を活かしつつ、製造原価を低減。

スリムボトルで持ちやすい!!

新 尚仁沢の天然水

しょうじんざわ

自然のおいしさ、そのままに。

新製法でリニューアル

尚仁沢の天然水  
特本の名水  
特本黒塚谷町・尚仁沢湧水

高性能特殊フィルターを導入し、製法を加熱殺菌から非加熱殺菌に変えることで、本来の風味を損なうことなく自然のおいしさをそのままお届けできるようになりました。

### 3 当社の特徴と成長戦略、下期の取り組み

# 当社ビジネスの3つのポイント

1

人々の生活を  
支えるインフラ  
**(社会基盤)**  
となること



地域密着型の経営で、  
お客様に喜ばれる店舗  
づくりを目指します。

2

**科学的、合理的な視点で**  
ビジネスを進  
めること



内製化された  
業務システム  
+  
店舗オペレーション  
商品管理  
商品仕入  
物流体制

3

**ビジネスを**  
**サイエンスし、**  
未来へ進化  
し続けること

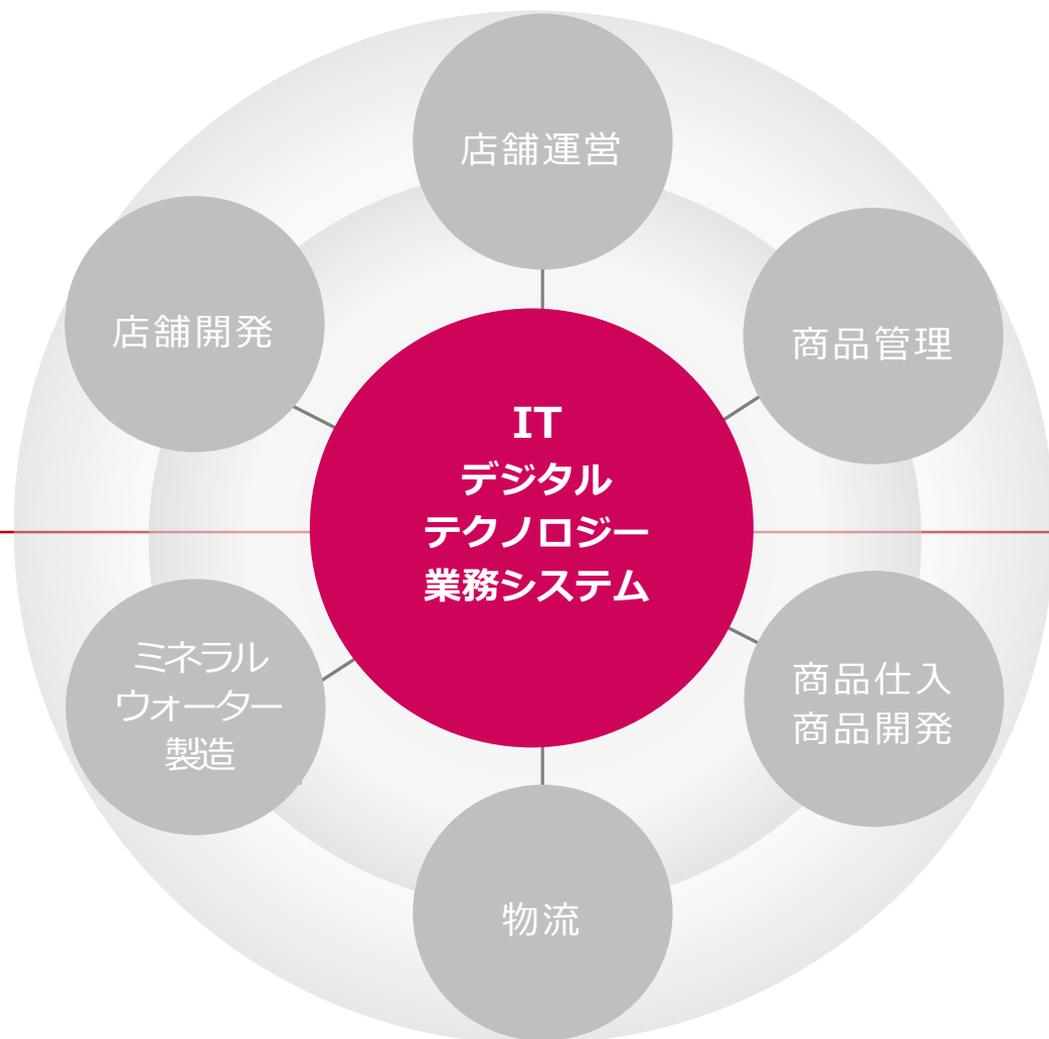


時代の潮流を読み、  
絶え間なく進化するIT  
・デジタルテクノロジーと  
ともに成長し続けます。

## ジェーソンの発展を支えるデジタルテクノロジー・業務システム

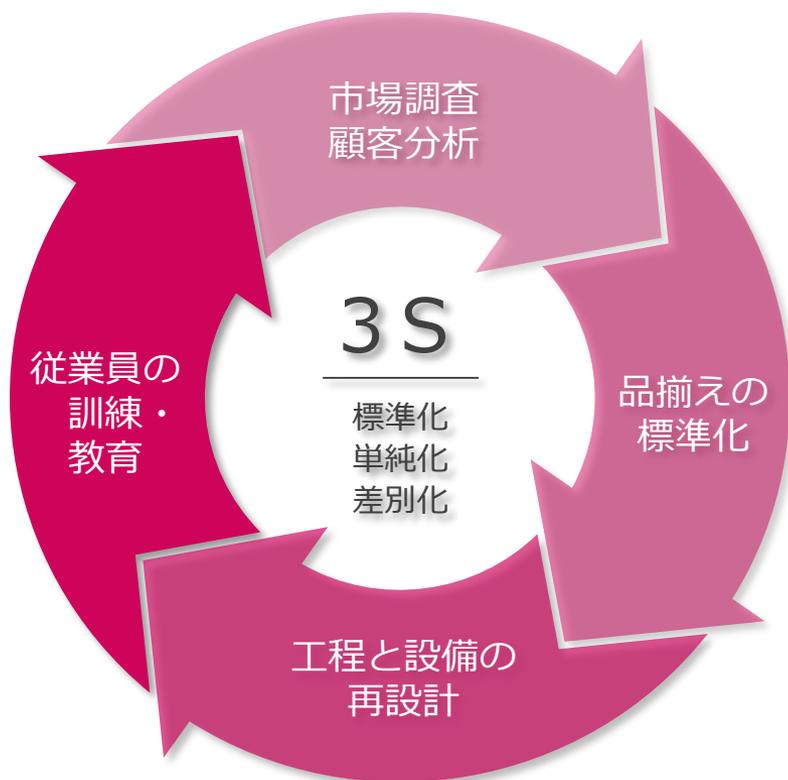
「ムリ・ムラ・ムダ」を  
省いたローコスト経営

科学的、合理的な視点でビジネスを進めることが、ジェーソンが大切にしているマインド。



## 当社の強み、特徴

ベーシックなオペレーションシステムを愚直に実施し、改善を積み重ね、ステークホルダーの皆様と企業利益の両立を目指します。



多店舗展開・M&Aによる企業規模拡大  
IT活用・内製化によるコストダウン

収益の大幅な増加

ステークホルダー（顧客・株主・従業員・  
取引先・社会）と企業利益の両立を実現

# 成長イメージ

社内IT・デジタルテクノロジーの高度化を主軸に、徹底したローコスト経営と各種経営戦略を展開し、企業価値向上を進めて参ります。



# 下期以降の取り組み

## POINT 1

### 新規出店の加速

積極化

- 店舗開発人員を拡充することで、店舗物件情報収集力を強化。
- 居抜き物件を中心としたローコスト出店を強化。

## POINT 2

### JV (ジェーソン・バリュー) 商品・PB商品の取扱強化

推進

- 自社製ミネラルウォーターの設備更新により増産体制を強化。
- JV商品の強化により、値上げに対抗しつつも粗利率を改善に注力。

## POINT 3

### 店舗経費の削減

進展

- プロジェクト管理システムの活用により効率的な店舗運営を実施。
- 省エネ、省人化の徹底。

## 4 2023年2月期 業績予想・株主還元

## 2023年2月期 業績予想

売上は好調に推移しているものの、電気料金をはじめとしたエネルギー価格の高騰などにより、販管費が当初の想定を大きく上回る見込み。このような状況を保守的に勘案し、今般通期業績予想を修正するものです。

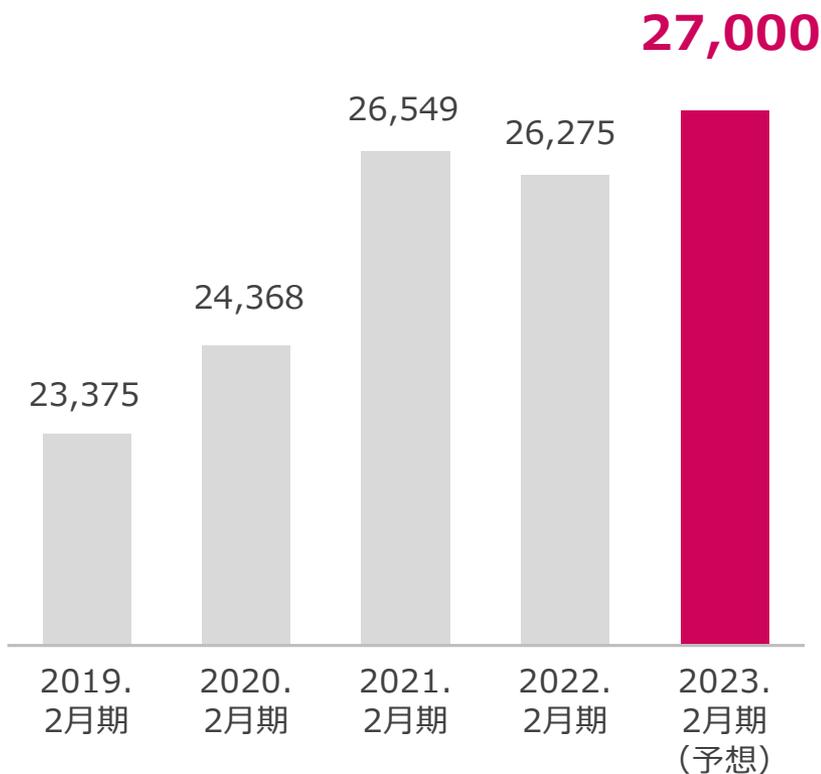
(単位：百万円)	2022.2月期 実績	2023.2月期 当初予想	2023.2月期 修正予想	前期比
売上高	26,275	27,000	<b>27,000</b>	2.7%
営業利益	872	960	<b>760</b>	▲12.8%
経常利益	916	1,000	<b>800</b>	▲12.7%
当期純利益	570	600	<b>540</b>	▲5.2%

# 売上高・営業利益推移

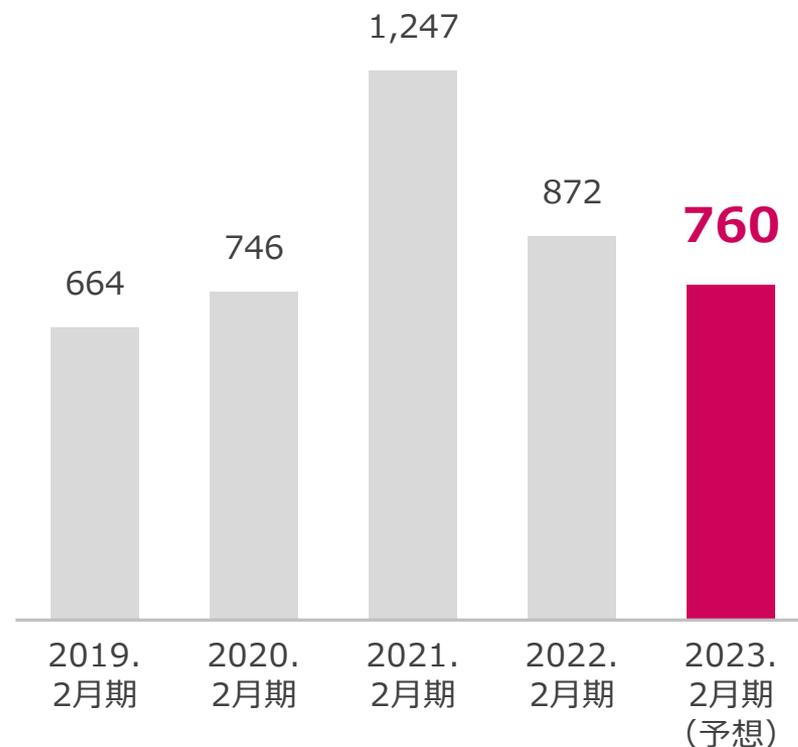
売上面は増収基調を維持。一方収益面では水道光熱費の高騰が重荷となり、減益となる見通し。

(単位：百万円)

## 売上高推移

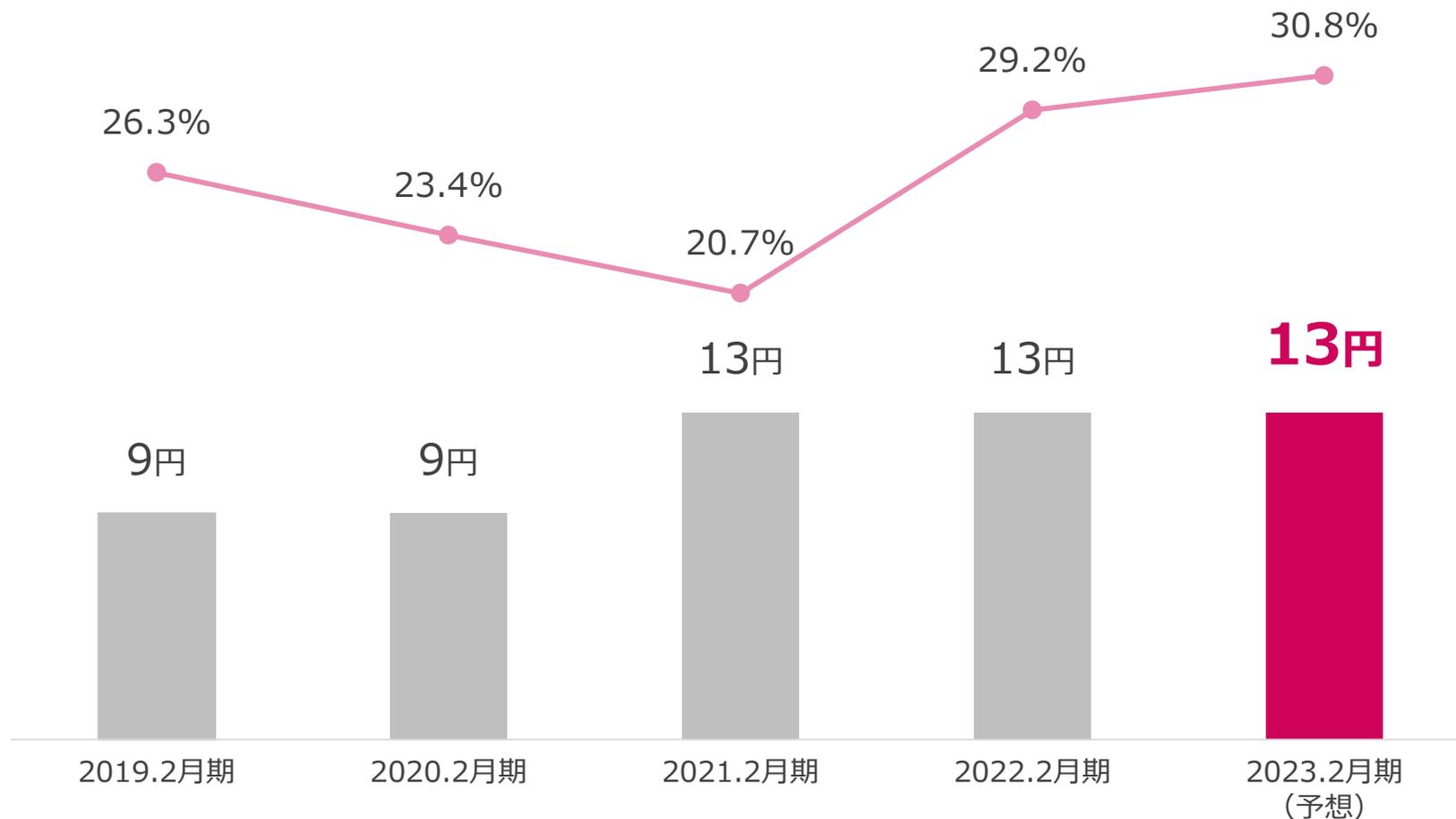


## 営業利益推移



# 1株当たり年間配当金と配当性向

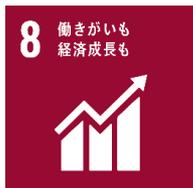
前期と同額の1株当たり13円を予定



## 5 サステナビリティ

# サステナビリティ

SDGs 17の目標のうち、特に以下の7つに注力しております。



## Environment (環境)

### 食品ロス削減

メーカー・商社等の商品政策の変更による返品商品や、賞味期限間近の商品を市中販売することで貢献しています。



### 省エネルギー

- ・ LED照明の導入による消費電力削減
- ・ 店舗・本社の冷暖房温度適正化による省エネルギー対策
- ・ 自社物流の配送効率改善によるCO2削減
- ・ 会議資料のペーパーレス化



### 安全で安価な飲料水確保

100%子会社において良質なミネラルウォーターを徹底した衛生管理・コスト管理のうえ製造しています。



## Social (社会)

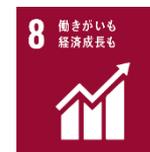
### 社会貢献活動

- ・ 日本赤十字社への活動資金協力
- ・ 児童養護施設への支援



### 多様な働き方の推奨

- ・ 育児休業制度を採り入れ、女性は全員、男性は約半数近くが取得しています。
- ・ 育児短時間勤務、在宅勤務など柔軟な就業
- ・ 外国人雇用・障がい者雇用の実施



## Governance (ガバナンス)

### コーポレートガバナンス

持続的な成長のための経営の効率化を図り、健全で透明な経営体制を構築するため、コーポレート・ガバナンスを充実させております。



### コンプライアンスの徹底・リスクマネジメント

企業価値及び信頼性の向上を目的として、事業活動に伴う各種リスクに適切に対応するための「リスク管理委員会」を設置し、社内を横断的に統括しております。

### 情報セキュリティ体制

- ・ 端末に情報を残さないよう独自のシステム上で業務を行う
- ・ 社内Wi-Fiを通じて限られた範囲内で情報を取り扱う
- ・ ウイルス対策に注力し情報セキュリティを強化

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ジェーソン  
〒277-0921 千葉県柏市大津ヶ丘2-8-5  
TEL :04-7193-0911  
<https://jason.co.jp/ir/>